

令和5年（2023年）度行政評価シート

令和5年6月23日

評価者	教育文化財部長 小林 昭嗣
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	2-(1) 歴史環境	施策の方針	2-(1)-①文化財の保護
目標とするまちの姿	史跡などの文化財の保存が図られるとともに、市民等が触れることのできる形で活用や情報発信が積極的に行われています。			
主な取組	<p>(1)文化財の保護及び継承体制の充実 有形・無形文化財、民俗文化財、史跡名勝天然記念物等の貴重な文化財を、後世に確実に引き継いでいくため、調査・研究の成果に基づき指定・登録を進めるとともに、適切な保存修理、整備等を実施します。また、出土品を含む貴重な文化財を適切に保存・活用するため、専門的な人材の確保や保管スペースの環境整備を進めます。</p> <p>(2)史跡の公有地化、整備・管理 貴重な史跡を保護していくため、公有地化を進めるとともに、公開活用に向けた整備及び管理を進めます。</p> <p>(3)情報発信の充実 市民や来訪者が文化財について理解が深められるよう、教育・観光等の関連施策とも連携して積極的な公開及び情報発信を行うとともに、鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館を核として、社寺や史跡など市内に所在する豊富な文化財や歴史的遺産をつなぎ、鎌倉のまち全体を博物館とするエコミュージアムの仕組みを構築し推進します。</p>			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

教育文化財部

<ul style="list-style-type: none"> ・出土品の保管施設を確保、搬出し、貴重な文化財を適切に保存・管理する。 ・史跡大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事を始め、史跡指定地の適切な維持管理、環境整備を行い、貴重な史跡の保存、活用を進めるとともに、未指定文化財の取扱いを検討していくための基礎調査を実施する。 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を契機とした関連事業を実施し、鎌倉の歴史的・文化的遺産の魅力を発信する。 ・鎌倉市にふさわしい博物館基本計画策定に向け、委員会の開催や先進事例の視察などの取組を進める。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	331,978	310,541	440,206			
人件費	211,086	212,705	194,250			
総事業費	543,064	523,246	634,456	0	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	教育-39	史跡環境整備事業		128,458	27,346	155,804	現状維持	B	現状維持
	教育-40	文化財調査・整備事業		114,522	82,384	196,906	現状維持	B	現状維持

	教育-41	文化財保存・修理助成事業		39,855	14,973	54,828	現状維持	B	現状維持
	教育-42	文化財公開活用事業		1,366	9,875	11,241	現状維持	B	現状維持
重	教育-43	鎌倉市にふさわしい博物館事業		144	4,558	4,702	改善・変更	A	改善・変更
	教育-44	鎌倉国宝館管理運営事業		92,904	29,726	122,630	拡充	A	改善・変更
	教育-45	鎌倉歴史文化交流館管理運営事業		62,957	25,388	88,345	改善・変更	A	改善・変更

4. 評価対象年度の主な実施内容

教育文化財部

・新たに市指定有形文化財を一件(常楽寺境内絵図)指定した。
 ・史跡の保存、活用のため、史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事、史跡北条氏常盤亭跡の崩落対策調査、史跡法華堂跡の危険木等伐採の防災管理業務を実施するとともに、史跡永福寺跡をはじめとする史跡の維持管理を実施した。
 ・厚木市内に新たに保管施設を確保し、旧野村総合研究所跡地に仮置きしていた出土品等を移設した。
 ・未指定文化財の管理、保護手法の検討のため、市内に所在する石碑等の現況調査を実施した。
 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送に合わせ、鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、北条氏展を含む特別展や企画展を開催した。
 ・鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会主催で公開シンポジウムを開催した。

※実施できなかった事業とその理由

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、文化財めぐり等の啓発事業は実施しなかった。
 ・鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ワークショップや子ども向けイベントは開催しなかった。

5. 成果指標

成果指標①		公有地化対象史跡の公有地の割合					出典		所管課調べ	
令和元年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	59.1	目標値	59.1	59.2	59.2	59.2	59.3	59.3	%	
		実績値	59.1	59.2	59.2					
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%					

成果指標②		指定文化財の数 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)					出典		所管課調べ	
令和元年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	610	目標値	611	614	617	620	623	626	件	
		実績値	609	607	608					
		達成率	99.7%	98.9%	98.5%					

成果指標③		鎌倉国宝館来館者の満足度					出典	所管課調べ		
令和2年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	89.0	目標値	90.0	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	%	各展覧会ごとに実施するアンケート結果の集計 令和2年度アンケート結果を元に初期値、目標値を設定
		実績値	89.0	91.3	86.8					
		達成率	99.0%	101.4%	96.0%				%	

成果指標④		鎌倉歴史文化交流館来館者の満足度					出典	所管課調べ		
令和2年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	89.0	目標値	90.0	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	%	入館者に実施している任意のアンケート結果の集計 令和2年度アンケート結果を元に初期値、目標値を設定
		実績値	89.0	90.6	92.4					
		達成率	99.0%	100.7%	101.5%				%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

教育文化財部

・指定文化財の数は、新たな指定により1件増となった。県、市指定の文化財が国指定に格上げとなる際に、複数の物件が一括となることがあるため、達成率は100%を下回っているが、実質的な指定件数は増加している。

・史跡の公有地化は、令和4年度は実施しなかったが、3年毎に買収を行うこととしており、計画通り実施している。

・これらの施策を着実に進めることにより、鎌倉市内に所在する文化財や歴史的遺産を保護し、未来へ確実に継承することができている。

・鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館では、SNS等を活用して北条氏展の周知を図った。さらに大河ドラマの人気とともに、市民、市内通学者及び「鎌倉殿の13人 大河ドラマ館」利用者の観覧料を無料としたことで、前年度と比較し入館者数が大幅に増加し、多くの方々に鎌倉の文化財の魅力を知っていただくことができた反面、鎌倉国宝館については、来館者の満足度は令和3年度に比較して約5ポイント減少した。これは、これまででは鎌倉国宝館を訪れる機会がなかったが無料ということで立ち寄った、という来観者が増加し、その方々の満足度が影響したのではないかと考えられる。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

教育文化財部

・常楽寺境内絵図を指定し市指定文化財が1件増となったこと、史跡の維持管理や防災工事を適切に実施したことにより、文化財の保護が着実に進んでいる。

・老朽化が著しかった野村総合研究所跡地に仮置きしていた出土品を、新たに厚木市内に確保した保管施設に移設したことにより、資料の適切な管理と今後のさらなる公開活用に向けた取り組みを進めることが可能となった。

・市内に所在する石碑等の現況調査を行い、今後、指定を含めた保護の方策について調査・研究を進めていく資料を整えることができた。

・北条氏展は、外部から貴重な文化財を多数出品いただき、近年稀にみる大規模な展覧会となった。そのため、一般の方だけでなく、歴史や美術の専門家からも注目された。また、特別解説やテレビ等メディア取材の依頼件数も多く、両館について広報することができた。

8. 今後の方向性

教育文化財部

- ・文化財の調査・研究、指定を進め、適切な修理を実施し、保存と公開活用を進めていく。
- ・実施計画に則って史跡の公有地化や防災対策工事、日常的な管理と環境整備を実施し、保存と公開活用を進めていく。
- ・博物館来館者のさらなる満足度の向上を目指して、今後もSNSなどを活用した情報発信を積極的に行うとともに、新しい展示手法を取入れる工夫などをし、観覧者のニーズに応じたさらに魅力的な展覧会を企画し開催していく。
- ・鎌倉市にふさわしい博物館事業については、コンパクトな市域に多くの歴史的遺産が展開する本市の特徴を十分に活かす鎌倉にふさわしい博物館構築に向けて、市民参加による運営等を盛り込んだ基本計画を策定する。

9. 今年度(評価年度)の目標

教育文化財部

- ・文化財の調査、指定を進めるとともに、石碑などの近代の歴史資料について、指定の可否を含めた取扱いの検討を進める。
- ・史跡大町釈迦堂口遺跡の防災対策工事と暫定公開に向けた整備、史跡北条氏常盤亭、史跡浄光明寺境内・冷泉為相の防災対策に向けた調査、設計を行う。
- ・文化財の公開活用、情報発信を積極的に行い、市民等の文化財への理解を深める機会を広く創出していく。
- ・来館者の満足度向上を目指し、鎌倉国宝館では特別展を5回、鎌倉歴史文化交流館では企画展を4回開催する。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、各種イベントの開催方法を模索する。
- ・鎌倉市にふさわしい博物館事業については、コンパクトな市域に多くの歴史的遺産が展開する本市の特徴を十分に活かす鎌倉にふさわしい博物館構築に向けて、基本計画の策定を推進する。